お名前

12月のなぞり書き

その1

うすい字をなぞって、俳句を書きましょう。

① 松尾芭蕉

年暮れぬ　笠着て草鞋　はきながら

としくれぬ　かさきてわらじ　はきながら

うすい字をなぞってから、左のマスに書き写します。

お名前

12月のなぞり書き

その2

うすい字をなぞって、俳句を書きましょう。

大根引

② 小林一茶

大根で道を

教へけり

大根引　大根で道を　教へけり

だいこひき　だいこでみちを　おしえけり

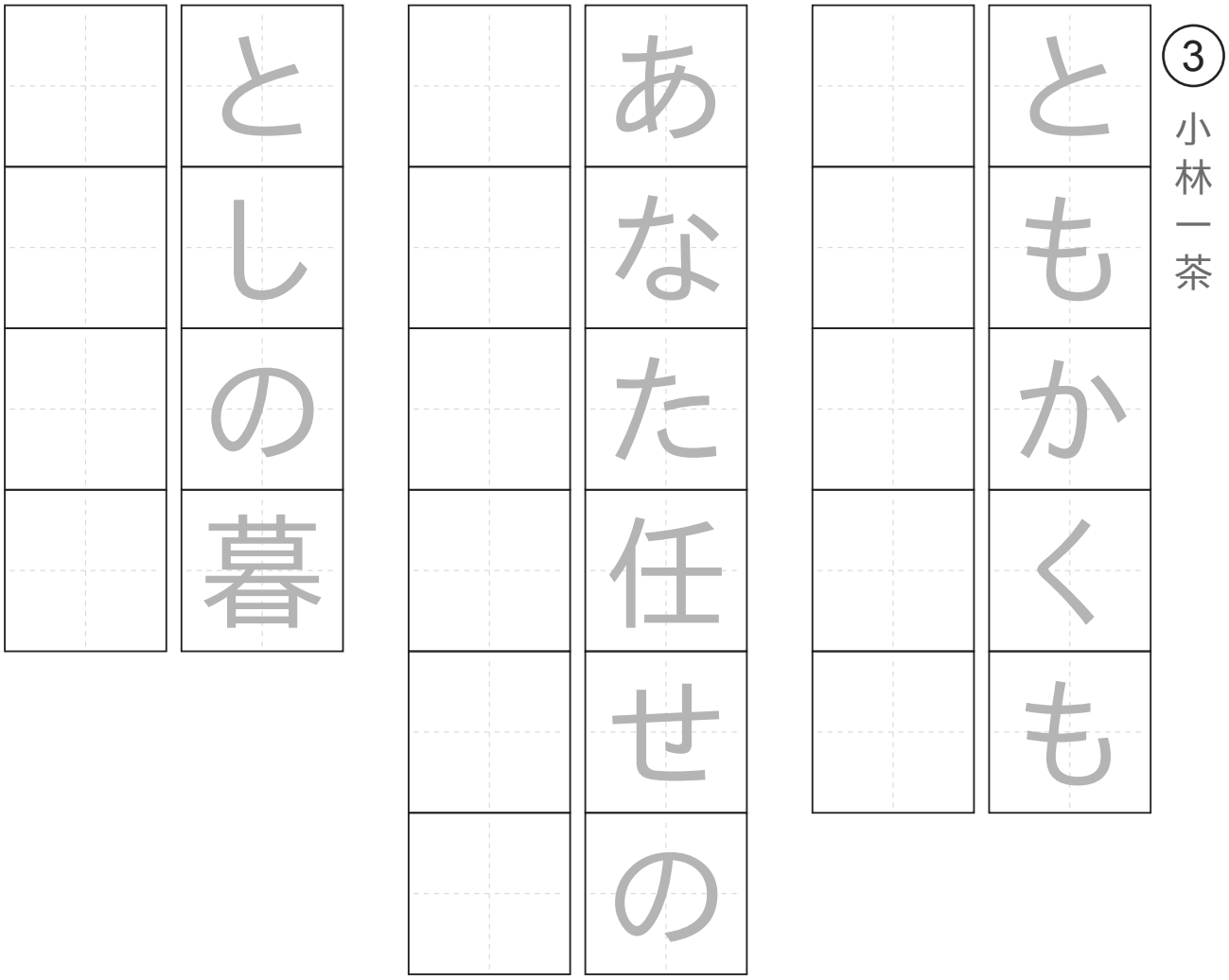
うすい字をなぞってから、左のマスに書き写します。

お名前

12月のなぞり書き

その3

うすい字をなぞって、俳句を書きましょう。



ともかくも　あなた任せの　としの暮

ともかくも　あなたまかせの　としのくれ

うすい字をなぞってから、左のマスに書き写します。

お名前

12月のなぞり書き

意味

俳句の読み方と、季語・意味です。声に出して読みましょう。

① 年暮れぬ　笠着て草鞋　はきながら

松尾芭蕉

読み方　としくれぬ　かさきてわらじ　はきながら

季語　年暮る（冬）

意味　旅の笠をかぶり、わらじをはいたまま、今年も暮れてしまった。

② 大根引　大根で道を　教へけり

小林一茶

読み方　だいこひき　だいこでみちを　おしえけり

季語　大根引（冬）

意味　大根をぬいていた人が、その大根で道をさして教えてくれた。

③ ともかくも　あなた任せの　としの暮

小林一茶

読み方　ともかくも　あなたまかせの　としのくれ

季語　としの暮（冬）

意味　あれこれ考えても、あとは仏さまにおまかせするしかない、年の暮れだ。

読み方は、いまのかなづかいで書いています。